



四万十つるの里づくりの会 令和6年度取り組みダイジェスト

令和6年

年間を通じて

■ 江ノ村地区でのツルのねぐら・餌場づくり

《実施内容》 ツルの越冬地となるよう、休耕田を復田し、地元で農業を営む会員に稲作を行ってもらいました。稲刈り後のツル渡来時期には、ツルがねぐらとして利用できるよう、水田に水を張りました(冬季湛水)。

5月

■ のいち動物公園での出張パネル展

期 間 ■ 5月25日～6月30日
場 所 ■ 高知県立のいち動物公園(香南市)
主 催 ■ (公財)高知県のいち動物公園協会
協 力 ■ 四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会、
四万十つるの里づくりの会、国土交通省中村河川国道事務所

《実施内容》 四万十市にツルが来ることを多くの人たちに知ってもらうため、パネル展を開催しました。11月の開園記念日イベントでもパネル展や折り鶴教室などを行いました。このほか、「四万十川ウルトラマラソン」など、四万十市外の人も訪れる複数のイベントで同様の出展を行いました。



9月

■ 令和6年度総会

日 時 ■ 9月9日 14:00～15:20
場 所 ■ 四万十市防災センター 参加者 ■ 23名

《実施内容》 前年度の事業内容や収支決算の報告と承認の後、任期満了に伴う役員改選が行われ、佐伯会長はじめ全役員が再任されました。R6年度の取り組みの審議では、各活動の継続実施のほか、来年度に設立20周年を迎えるに際し、過去の調査データや写真等を整理していく方針であることも説明しました。



■ ワークショップ「四国のツルとコウノトリ」参加

日 時 ■ 9月29日 9:30～16:00
場 所 ■ 西予市教育保健センター(愛媛県) 参加者 ■ 38名
主 催 ■ 日本ツル・コウノトリネットワーク 後 援 ■ 愛媛県西予市

《実施内容》 四国内でのツル・コウノトリの飛来数増に向け、保護活動や調査・研究を行っている研究者、団体等が一堂に会して事例報告や意見交換を行うワークショップで、会長は四万十市でのツル保護のあゆみと前年度の飛来状況について報告しました。



10月

■ 啓発看板の新設

《実施内容》 当会設立当初からねぐら・餌場づくりを続けている江ノ村と実崎の水田の周辺に、新たに看板を設置しました。



■ ツルの飛来状況調査



期 間 ■ 毎年10月下旬～3月下旬
協 力 ■ 高知野鳥の会、
国土交通省中村河川国道事務所

《実施内容》 毎日夜明けにねぐらにいる種類と羽数を確認し、ねぐらから飛び立った後は、水田地帯を巡回して降りている場所(餌場)と羽数、行動を記録しました。夕暮れにはねぐらに戻ってくるかを確認しました。

《調査結果概要》 R6年度の飛来期間は、11月9～10日、12日、20日～12月4日と短く、残念ながら越冬しませんでした。最大飛来数もナベヅル1羽と、少しさびしい結果になりました。ですが、今季訪れたツルは、当会がねぐらとして冬季湛水しデコイを置いた江ノ村の水田に、ずっと滞在してくれました。これにより、江ノ村のねぐら利用は5年連続となりました。

この資料の作成にあたっては、夕部眞一氏(四万十つるの里づくりの会)及び国土交通省中村河川国道事務所から写真を提供していただきました。

地域の皆様、国土交通省中村河川国道事務所、(一社)四国クリエイト協会、(株)建設マネジメント四国など、多くの方々の協力や助成を得て、取り組みました。



取り組みの様子は
ホームページで
公開中!

<http://www.nakamura-cci.or.jp/doc/tsuru/>



■ 秋の「ツルの自然体験学習会」

日 時 ■ 10月24日 13:35～14:25
場 所 ■ 四万十市立東中筋小学校
参加者 ■ 27名(東中筋小学校5・6年生12名、その他15名)
共 催 ■ 国土交通省中村河川国道事務所

《実施内容》 教室でのツルの学習後、現地でデコイ(模型)の設置を手伝ってもらう予定でしたが、雨でぬかるんでいたため、学習のみ行いました。



11月

■ ツルの見学会(「ツルの自然体験学習会」補足授業)

日 時 ■ 11月25日 9:30～10:15
場 所 ■ 江ノ村地区・中山地区
参加者 ■ 17名(東中筋小学校5・6年生9名、その他8名)
共 催 ■ 国土交通省中村河川国道事務所

《実施内容》 滞在中のナベヅルを観察してもらいました。また、国土交通省が整備した中山地区の湿地も案内し、改良工事のポイントなどを説明しました。



■ FMはたらんど(ラジオ)「River Side Afternoon」出演

日 時 ■ 11月28日 13:25～13:50 オンエア

《実施内容》 中村河川国道事務所の新谷計画課長(写真中央)と当会会長(左)が出演し、官民連携によるツルの里づくりの取り組み紹介やつるの里祭りのPRなどを行いました。



■ 第16回 四万十つるの里祭り

日 時 ■ 11月30日 10:00～14:00 来場者 ■ 約700名
場 所 ■ 四万十市立東中筋中学校
後 援 ■ 四万十市、四万十川自然再生協議会
協 力 ■ 国土交通省中村河川国道事務所、渡川ダム統合管理事務所
助成支援 ■ (一社)四国クリエイト協会、(株)建設マネジメント四国
協 賛 ■ 地域のたくさんの事業者の皆様

《実施内容》 ツル観察バスツアー、もち・菓子投げなど、多彩な催しを実施し、皆さんに大変喜んでいただきました。東中筋小の子どもたちはツルの学習発表や自分たちで作った映画の披露、お米販売と今回も大活躍でした。



12月

■ ツルのオンライン交流授業

日 時 ■ 12月13日 10:30～11:15
場 所 ■ 四万十市立東中筋小学校
参加者 ■ 31名(東中筋小学校5・6年生12名、
愛媛県西予立石城小学校5年生10名、その他9名)
共 催 ■ 国土交通省中村河川国道事務所

《実施内容》 学習成果を発表し合い、四国の越冬地同士、交流を深めました。



令和7年

1月

■ 第6回四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会※(総会)参加

日 時 ■ 1月28日 15:00～17:00
場 所 ■ 四万十市防災センター 参加者 ■ 22名
事務局 ■ 国土交通省中村河川国道事務所

《実施内容》 協議会では、多様な主体の連携・協働による四万十川の豊かな自然環境の保全・再生と地域活性化を目指し、ツルが飛来・越冬できる環境・社会づくりの取り組みを行っています。この日は会長が委員として参加し、R6年度の活動状況を共有しました。

※当会会長と会員の一部は、同協議会のコア会議やツル部会に参加しています。

